
-孤独-

naokiblog

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

- 孤独 -

【コード】

N6752P

【作者名】

naokiblog

【あらすじ】

「孤独」……。それは、冷たく悲しいものだということを俺は知っている。

「あははっ。それでさ」
俺が、このように友達と喋って笑える……。それが、今は不思議だ……。

というのは、俺が過去にいじめられていたからである……。

(前書き)

この小説はノンフィクションです。

「ハゲー、ハゲー。」

髪型は、短髪だがハゲって言われるほど短くはない。

俺は、小学二年生でこの小学校に転校してきた。そして転校してから初日でイジメが始まった……。

S：「おい、ハゲ。ドッジボールやんない？」

俺はこう答えた……。

「あ……いいよ。」

俺は、イジメを受けながらもその人を憎まず遊ぼう……という気持ちになっていた。

そして、俺はドッジボールに参加したのだが……

「うえーい」

と、俺一人だけが狙われた……。

そして、このような日常が続き、このとき俺は初めて「孤独」を痛感した。

そして、クラスのみんなから避けられ、嫌われるような存在となった……。

イジメを我慢しながらも友達が居ないから、その人たちと遊ぶしかなかった……。

3年生になったときも、イジメが続いた。

そう同じように「ハゲ」と言われ……。

友達も居なく、一人で抱えるしかないと当時は思っていた。

新たな悪口もだんだん増えてきた……。

が、そんな俺にも興味を持つものがあつた……。

それは、「アウトドア的な学習」であつた。

小学3年生の時の担任は、普通の授業を放棄してでも、「漢字の学

習」や「アウトドア的な学習」を生徒にやらせていた。

俺は、このときから漢字が好きになった。

そして、「アウトドア的な学習」の主な内容は、「縄文人」が昔使っていた道具で、火をおこすなどというものや、「太鼓」で遊ぶというようなものだった。

俺は、火をおこしたりするのが好きであった。何が起こるか分からないワクワク感や好奇心が溢れるからであり、火種が出来た時の達成感が快感でもあったからだ。

それに、歴史などにも興味を持つ事が出来たからだ。

これが学校での「唯一の楽しみ」であった……。

だが、時はすぐ経ったり遅く経ったりするもので、俺には遅く感じた……。

なぜなら、「孤独」であったからだ。

小学四年生になった時、担任が変わってしまったので俺は「唯一の楽しみ」が無くなって、悲しいように思えた……。

が、ある一人の男子に思い切って「友達になるう」と言ってみた……。

すると、その男子はこう答えた。

「いいよ。」

このとき、「初めての友達」ができて、とても嬉しかった。

その男子の名前は、「A」であった。

趣味も合って、同じアニメが好きであった。

そして、何度か「A」と遊び、親密度も高くなり、「A」を「親友」だと思った。

だが、イジメは相変わらず続いていた……。

また同じように「ハゲ」と言われ……。

しかし、友達が居たから、もう「孤独」ではないと思い、イジメはあまり気にしなかった……。

そんな日常が続いていた。

小学5年生になった。

俺は、新しい友達が増えた。

またこれも、嬉しかった。

のように、思えたのも今のうちだった……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6752p/>

-孤独-

2010年12月31日04時39分発行